

木田市長の



vol.33

定期船改革のプレリュード(序章)

新高速船「きらめき」の就航が4月14日に開かれまし
た。心配していた雨も時間を
計ったようにやみ、紅白のも
ちを船上からまいて、多くの
人に喜んでいただきました。
もち米は市民のかたからの
寄付で、もちつきはボランテ
ィアのみなさんによって行わ
れました。本当にありがとう
ございました。

この船は、快適・高速でバ
リアフリーにも対応してお
り、障がい者やお年寄り、こ
どもにも優しいタイプになっ
ています。また、菅島までの
時間を5分、神島までは12分
短縮することができます。
菅島の場合、たった5分か
と思われるかたもおられるで
しょう。確かに、一回ではたっ
た5分です。しかし、例えば
一日一往復で10分短縮、一年
のうちに仕事や所用で300
日利用すると、年間で50時間
の節約という計算になります。
さあ、今から50時間船に乗
るとなったらどんな気分です
ようか。「時は金なり」という
言葉もあります。時間給を仮
に800円とすると50時間で
4万円也ということになりま
す。各地の航路では、この「時
は金なり」という考え方で、
早い船を利用するときに高速
料金を別途徴収しています。
しかし、鳥羽市営定期船は
高速料金を設定しません。
2隻目の「かがやき」がで
きれば、今回少しご迷惑をお
掛けする運航ダイヤについて
も改善できますし、今後は答

志・桃取方面のみなさんにも
快適・高速の船を利用して
いただけることとなります。
本土のみなさんや観光客の
みなさんにも大いに利用して
いただきたいと思います。
新船の建造費補助について
は、国と県に何度もお願いし、
約4割を負担していただきま
した。残りは市債ですが、そ
のうちの半分は辺地債という
名目で、その80パーセントは
あとから交付税として国から
市へ戻ってきます。決してぜ
いたくない買い物ではありません。
逆に、今までの船よりも
市としては安く上げていると
言えるかもしれません。
何事も改革には痛みが伴い
ます。しかし、今回の高速船
就航計画は、船の数を減らす、
また運航形態を見直すことに
より、定期船の財政を改善す
るという目標と市民サービス
の向上を図るという目標の両
方を達成することができると
の考えています。
燃料油の高騰に悩む現実で
すが、今回の「きらめき」就
航を定期船改革のさきがけに
したいと思えます。市民のみ
なさん、ぜひともご理解とご
協力をお願いします。

人権文化の
花を咲かせよう

Vol.72

ゴールド人材センターみえ

「ゴールド人材センターみえ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

これは、働く意志があっても障がいのため、働くことが困難な人に、本人の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業の機会を提供することにより、障がい者のかたがたの自立と社会参加を支援するために、2006（平成18）年12月4日に設立されました。

ゴールド人材センターみえを通じて働くためには、申込書兼登録票の提出が必要です。申込書兼登録票は、県のホームページ (<http://www.jp>)

ref.mie.jp/TOPICS/2007050316.htm) からダウンロードできます。登録料は無料です。
この近くでは、「はじまりの杜」(〒515-0507伊勢市村松町字明野1389-16 ☎0596-1165) が受け付けをしています。

登録者の数は、平成19年3月には56人でしたが、約半年後の10月には、135人と倍以上に増えてきています。

働く意欲のあるかたは、まず登録してください。そして、こうした機関を事業者のかたがたに知ってもらい、障がい者のかたの働く場を少しでも確保して欲しいと思います。

まだまだ、障がい者のかたがたの雇用環境は、周囲の理解不足などにより厳しい部分があります。社会の中で他の人たちと同じように生活し、活動することが当たり前だという一人ひとりの意識が、こうした環境や社会を変えていくような気がします。

